

## 指笛楽友会通信（第 49 号）

平成 24 年 5 月

雨、風、気温、自然界は観測史上初などと計り知れない現象をつくり私たちを脅かしています、が野も山も街も淡い緑、濃い緑で輝き私たちを慰め癒してくれる季節がくるのもこの大自然です。色とりどりの花が咲き揃うこの季節、楽友会の皆さまはどこで指笛を楽しんでいるのでしょうか。

### ♪♪♪ 私と指笛 ♪♪♪

…遠い存在だった指笛が…

斎藤 景子

40 年ほど前になりますが、歌手志望のポリオ（脊髄性小児麻痺）の青年が開いたコンサートの会場で、応援出演された田村大三先生の指笛を聴きました。美しい音色とボリューム。観客の間をボギー大佐を吹きながら歩かれた時に、「私は以前にも指笛を聞いたことがある」との記憶が蘇りました。それは更に 20 年も前、ミッションスクールに通っていた頃、学校の講堂でやはり着席している生徒達の間を指笛を吹きながら歩かれた先生のことでした。それまで思い出す機会がなかった指笛の音色にハッとしました。そして当時のことを思い出し、とても懐かしく思いました。

それから更に年月が経ち、不思議なご縁で夫が田村先生に指笛を教えていただくことになり、遠い存在だった指笛が身近になりました。私もマウスミュージッククラブにお手伝いのつもりで通うようになり、思いもよらないことで、曲が吹けるようになりました。今では指笛が身近にいつでも共にある存在になりました。まだまだとても満足には吹けませんが、このたび指笛楽友会に入会させていただきました。いつか夫と二人で楽しく演奏することを夢見ております。どうぞ宜しくお願いいたします。

…驚いた事がいくつも…

岩井悠紀夫

#### \*自己紹介

1946年2月生まれです。H24年から指笛楽友会のメンバーに加えていただき、ありがとうございます。

指笛創始者田村大三先生の終焉の地大泉学園駅の近くで貸しスタジオを運営しております。そして嬉しい事に毎月 1 回 4 時間程、指笛練習と会合にご利用いただいております。こちら、ありがとうございます。40 歳過ぎから歌に興味

を持ち練習している内にボイス・トレーナーになっていました。本職は、技術系の資格をいかした設備管理技術者です。

#### \*指笛との最初の出会い

指笛との最初の出会いは練馬文化センターでの指笛発表会でした。妻の友人のK子さんが、発表会のお手伝いをなさっていて誘われ、私も興味が有ったのでついて行ったのです。そして非常に驚いた事がいくつも有りました。

##### 1、音が大きい！

口笛、歯笛、手笛、葉笛、舌笛等、身体の一部を使う笛の音より段違いに音が大きいのに驚愕いたしました。

注) 歯笛・・・唇を平たくして、上下の歯の隙間からスーッと息を出しちよつとハスキーな音でメロディーを奏でます。

舌笛・・・舌をU字形に丸め思い切り突き出し鼻みたいな音でホーホーならします。

私は50歳位までは両方できましたが、最近音が出ません。多分、歯が擦り減ったせいでしょう。

##### 2、すごいハイ・トーンまで出る！

出だしの音が高いので、心配しながら聴いていましたが、サビの高い音もクリアに出るのでビックリしました。

##### 3、人差指1本でメロディーが・・・。

今まで指2本で音を出せるのは知っていました。でもメロディーを奏でるのは聴いた事はありません。音色もビブラートも指笛演奏者により違うのも不思議です。

##### 4、音ができるようになるまで大変！

他の楽器や体で音を出すのは比較的簡単だと主観的に思います。オーボエで音を出すのは難しいと言われている様ですが、指笛の方が遙かに難しいのではないのでしょうか？

難しいだけ希少価値が有るとも考えられます。自分の人差指1本だけで素晴らしい音色でメロディーを奏でられるなんて、まだそれが出来ない人間にとっては奇跡と羨望以外の何物でもありません。

#### \*これからの抱負

指笛は困難でも練習のやりがいがあります。何時も同じ音程しか出ませんが、皆様の御指導のおかげで、たまに私も音が出る様になりました。今年から並行してピアノも習い始めました。将来、指笛の伴奏ができれば嬉しいです。これからも宜しく願いいたします。

## 世界のこんな所でも響いた！

### ベトナム山岳地帯にひびく指笛

ベトナム第三の都市ダナンから西へ、車を走らせること約2時間。山岳地帯に少数民族カツウ族の村がある。

ベトナムには53の少数民族が住んでいる。その中でもカツウ族は、独自の文化を持ち、生活様式を維持しているが、政府の政策や貨幣経済の浸透などは彼らの生活をいやおうなく変えている。ベトナム語は話さず、独自の言語を持ち、男は狩猟を得意とする。勇猛果敢なこの民族は、ベトナム戦争当時ゲリラ戦で米軍を翻弄したことで有名である。

ベトナム政府の要請により、日本のFIDR（国際開発救援財団）がこの少数民族の自立を支援するプログラムを立ち上げたのは7年ほど前のこと。農業開発などの支援プログラムは着々と成果をあげ、カツウ織という織物への支援プログラムもデザイン改善や販売促進にまで高度化した。

私の友人がFIDRでこの支援プログラムを担当していて、一度現地を見てアドバイスをもらいたい、村人との交流もしてほしい、との要望があり、家内と二人、訪問することになった。

5月11日（金）、友人達とナムザン郡のタビンスクールを訪ねた。待っていたのは5年生のクラス25人。もうすぐ3ヵ月もある夏休みの前のひととき。ちょうど乾季で日本の真夏よりも暑い。それでも冷房や扇風機もない中で授業を受けている。かわいい瞳が興味津々見知らぬ来訪者を見つめている。

FIDRのベトナム人スタッフが、「異国のおじさんが、指笛やパンフルートを演奏したり、日本の遊びを紹介する」、との説明をすると皆が顔を見合わせて笑顔が広がる。聞けば、指笛も知らないし、パンフルートもオカリナもハーモニカも見ることがないという。

用意していったラジカセから音楽が流れ、指笛を吹く。教室はしんと静まり、真剣に聴きはじめた。ひとりひとりの目を見つめながら演奏する。食い入るように見つめる子供達。曲が終わるのを待ちかねたような大きな拍手。パンフルートを吹く。穏やかな日本の子守唄にすっかりなじんだ様子。続いて、オカリナ、ハーモニカでの演奏に、やんやの喝采を浴びる。

アオザイのよく似合う若い先生から、ぜひ子供達に指笛の吹き方を教えてほしいとのリクエスト。さっそく指笛教室の開始。子供達が指を曲げて口に入れ、吹き始めた。みんなが懸命に吹いている中で、二人ぐらいから小さいがピーという音が出て大きな拍手が湧き起こった。

最後に家内が折り紙を見せてみんなに配り、子供達に折鶴のつくり方を披露。子供達は彼女を取り囲んで慣れない手つきで折る。完成した鶴を高く掲げて喜ぶ子供達。

子供達の大きな歓声に包まれて学校を後にした。

翌日は近くのパイヤ村の集会所に行く。高床式で、床は竹を編んでいるので通気性がよく、床下からの風が通るようになっていて、居心地がよい。村の村長婦人が作ったおもてなしの料理をいただく。竹の筒にお米を入れて焼いたもの、豚肉や鶏肉をローストしたもの、野菜と魚の肉を煮たもの。味付けがさっぱりしてとてもおいしい。床の下には、食事の匂いをかぎつけて、犬や、放し飼いにしている豚、鶏などが次々にやってきた。友人の説明によると、床の竹の間から骨や肉などを落としてやると喜んで食べるそうだ。やってみると、子豚や鶏がやってきた。しかし、やっぱり犬が強くて、豚や鶏を追っ払って落ちてきた肉を食べている。究極のリサイクル。

村人や子供達がいつの間にか集会所に集まってきて、周りを取り囲んでみている。

若い村長さんがやってきて挨拶を交わし、いよいよ演奏開始。村人は喜んでくれるだろうか。指笛を披露。演奏を終えると、さっそく若者たちが両手を口にして、ピーピーと鳴らしはじめた。小指を曲げて吹く若者がいる。音階が出るためにはこうしたらよい、との説明をする。

驚いたことに村長さんたちは、「蛍の光」という曲が好きだと言う。しかも、ゆっくりしたテンポではなく、けっこう速いテンポがよい、という。家内が集会所に置いてあった長い筒の太鼓を借りて、小生のパンフルートやハーモニカに合わせて叩く。すると若者が、村長から促されて、家内と並んで太鼓演奏。すばらしい合奏になった。村人のみんなが大喜び。

若者達の歌と太鼓演奏が披露されて、お返しの演奏が始まった。

ゆっくりと時が流れる。

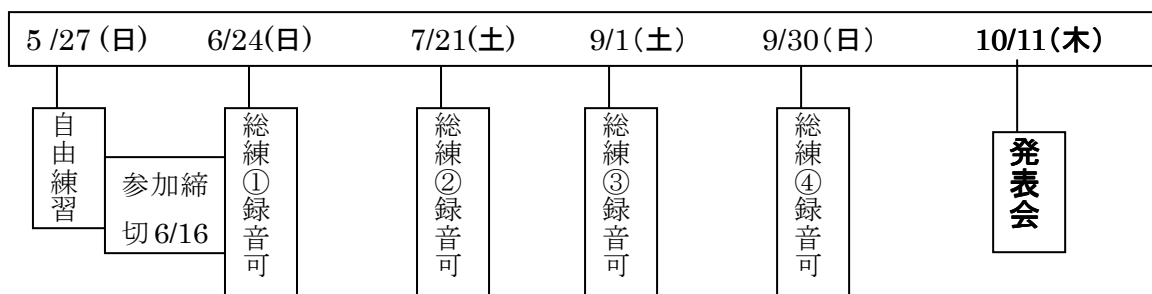
村の人々は新しい時代に適応するためにF I D Rの協力を得て様々な取り組みを行ってきた。しかし、自立は村人自身の問題である。友人は言う。子供が学校に入ると、ベトナム語ができなかったお母さんが教科書を一緒に読み、学校の先生の言うことや通信を読むことができるまでになってきた。そのように婦人方が前向きに変わってきたことがとてもうれしい、と。こうして婦人達は独特のカツウ織物を作り、製品化し、販売したり、地域の観光にも協力したりと男どもや村人を巻き込んだ形で新しい時代を切り開こうとしている。まだまだ課題は多いが、独自の文化を守りつつ、新しい時代へ向けて活動する人々の息吹を感じた旅であった。

2012年5月 竹中速雄

## 事務局からのお知らせ

### 一、25の会及び第78回研究発表会に向けたスケジュール

#### 1、全体の流れ



( )は担当者 (松谷) (藤好清) (斎藤秀) (中村) (全員)

✦ 練習参加費 総合練習だけ 1,000 円、伴奏付き指導 2,000 円の予定

#### 2、各日の時程・会場など

- ①、上記の 6月～9月までの練習日  
時程 原則として、13:00～17:00 (適宜役員会を設定)  
会場 U(ユ一)スタジオ :西武池袋線「大泉学園駅」南口下車 2分  
電話03-3924-6455 東大泉6-34-28、B-107
- ②、発表会(10月11日(木))の時程・会場  
時程 13:00～22:00 18:00開演の予定(未確定)  
会場 練馬文化センター(小ホール) 練馬区練馬1-17-37
- ③、参加申し込みの締切は、6月16日(土)(同封の葉書をご使用ください。)  
✦ 参加費用は、例年どおり 20,000円の予定です。

#### 二、その他の予定

- ① ゴーゴー広場のチャリティーショー(善意銀行友の会主催)は7月8日(日)  
担当者は中村倫二さんです。
- ② みんなの音楽会(練馬健生会主催)は6月9日(月)  
担当者は斎藤秀元 さんです。

#### 三、不明事項の問い合わせは下記へどうぞ。(ネット上では電話番号を添えていません。)

斎藤秀元  
中村倫二  
松谷 茂

## 訃報のお知らせ



「指笛楽友会」発足から会員でした船田弘子さまが去る3月21日(水)にご逝去されました、ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げ 会員の皆様にお知らせいたします。

## 編集後記

5月が近づくと「楽友会通信」で会員の皆様にどんなニュースをお届けできるかと気をもみましたが、此の度は、新入会員の斎藤さん岩井さんのお二人に、また竹中さんのベトナムでの演奏活動の様子などをご寄稿いただきました。編集にあたりご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。事務局からのお知らせ(発表会出演申し込みハガキ同封)をよくご確認下さるよう重ねてお願い致しまして、会員の皆様のますますのご健康とご活躍をお祈りいたします。

(編集責任 武井洋子)